

【議員の資質に係る問題点・課題点】

- 本会議だけが議員活動と思っている議員。
- 行政に対して問題意識をもっていない議員。
- 議員の顔が立候補の前と当選後では変わってくる。(品格がなくなる。)
- 市民のアイデアを取り上げない。
- 発言に責任がない。詭弁を平気で言う。
- 議員質問に深みがない。(行政側の回答にも適切さに欠ける。)
- 大きな声より小さな声を反映するというが、それより正しい事を反映して欲しい。
- 議員は公約した事は必ず守る事。議員になったとたん公約等、全く忘れてエゴに走る。
- 特権階級の意識を持つ。
- 議員はもっと正義感を持ってやるべし。市民にとって悪い事でも数の論理で流される。信念が足りない。
- 個人の利害にとらわれ「まち全体」の将来という視点に立っていない。
- 議員は市民の代表である事を忘れて多くの議員が多い。
自分自身のエゴばかりを追及している。醜い。
- 選挙のときは頭を下げてお願いするが終わると挨拶せず威張る議員。
- 議場で居眠りする議員がいる。
- 数の横暴に走らない事。常に市民の立場に立つ姿勢が必要。
いかなる事があっても自己中心になってはならない。
- パフォーマンスな行動と一般質問は見苦しい。
- 品位に欠ける議員がいる。
- 議員に立候補する前に先ずは自分自身が高い信念を持って市民の為に働ける人間かしっかりと自己診断して立候補してほしい。報酬ドロボーになってはならない。
- 議員さんも少しはボランティア精神で頑張る。
- 合併時に間違った情報を発信したことに対する反省・謝罪がない。
- 一般市民が安心して任せられる議員になって。
- 井戸堀議員が少ない。危機にある中での議員報酬を考えるべきである。
- 職業意識で議員にならないで下さい。ボランティア精神のある方を選ぶ方法を考えるべき。
- 議員は自分の掲げた公約を守る事。嘘については信用をなくす。守る事。
- 行政(市)の行事に参加しない議員。

【解決策】



【条例への反映】

【チェック機能に係る問題点・課題点】

- チェック機能を果たしていく覚悟が出来ていない。(危機感の欠如)
- 行政に対するチェック機能にかける。
- 議会の中に専門的な調査委員会を設置して欲しい。
- 市議はもっと行政活動の監視をすべきである。

【解決策】



【条例への反映】

【情報公開に係る問題点・課題点】

- 開かれた議会に向けて積極的でない。
- 政務調査費については、その用途を議員別に公開すべきである。
- 市民への情報発信をしない。
- 常任委員会ほか各種委員会を市民に公開すべきである。
- 議会にある情報を市民に積極的に公開すべきである。
- 議会だよりだけで普段の仕事が見えない。
- 議員さんの成果報告を表面にだし、切磋琢磨が行われると活動に変化が現れるのでは。
- 委員会の議事録をホームページに載せて欲しい。
- 議会のインターネット配信をして欲しい。

【解決策】



【条例への反映】

【市民とのコミュニケーション不足に係る問題点・課題点】

- 市民との対話が少ない。
- 市民の声を聞かない議員。
- 市民の代表(選良)と言いながら、市民の前に出たがらない。(影でヒソヒソ話をしている。)
- 市民(支持者)の声を議会に反映していない。自分の意見が市民の意見と思っている。
- 議員はあまり市民の声や意見を聞く場をもっていない。

市民の声や意見を広く聞くために、市民対話集会や討論集会を開くべきである。

- 公共ニーズの把握の必要性に応じて参考人の意見を聴く場を設けるべきである。
- 市民の声をどこで吸収しているか、市民の要望をどの程度把握しているか疑問。
- 議員と一般市民の距離をおくというのは気に入らない。市民の代表ではないか？
- 民意(住民の声)が政治に反映されていない。

- 議員さんによっては、地元になんの報告もないように見受けられる。(一部でしょう)

選挙のときだけではなく、もっと市民の声を吸い上げなくては議員の意味がない。

- 市議はもっと市民の意見を求め、その実現にむけて努めるべきである。
- 議会だよりは、報告だけではなく、問題内容を市民にも解りやすく解説をし、

問題提起として投げかけてみては。

- 議会が把握した行政等の情報については、市民に情報を提供し、市民と情報を共有すべきである。

【解決策】



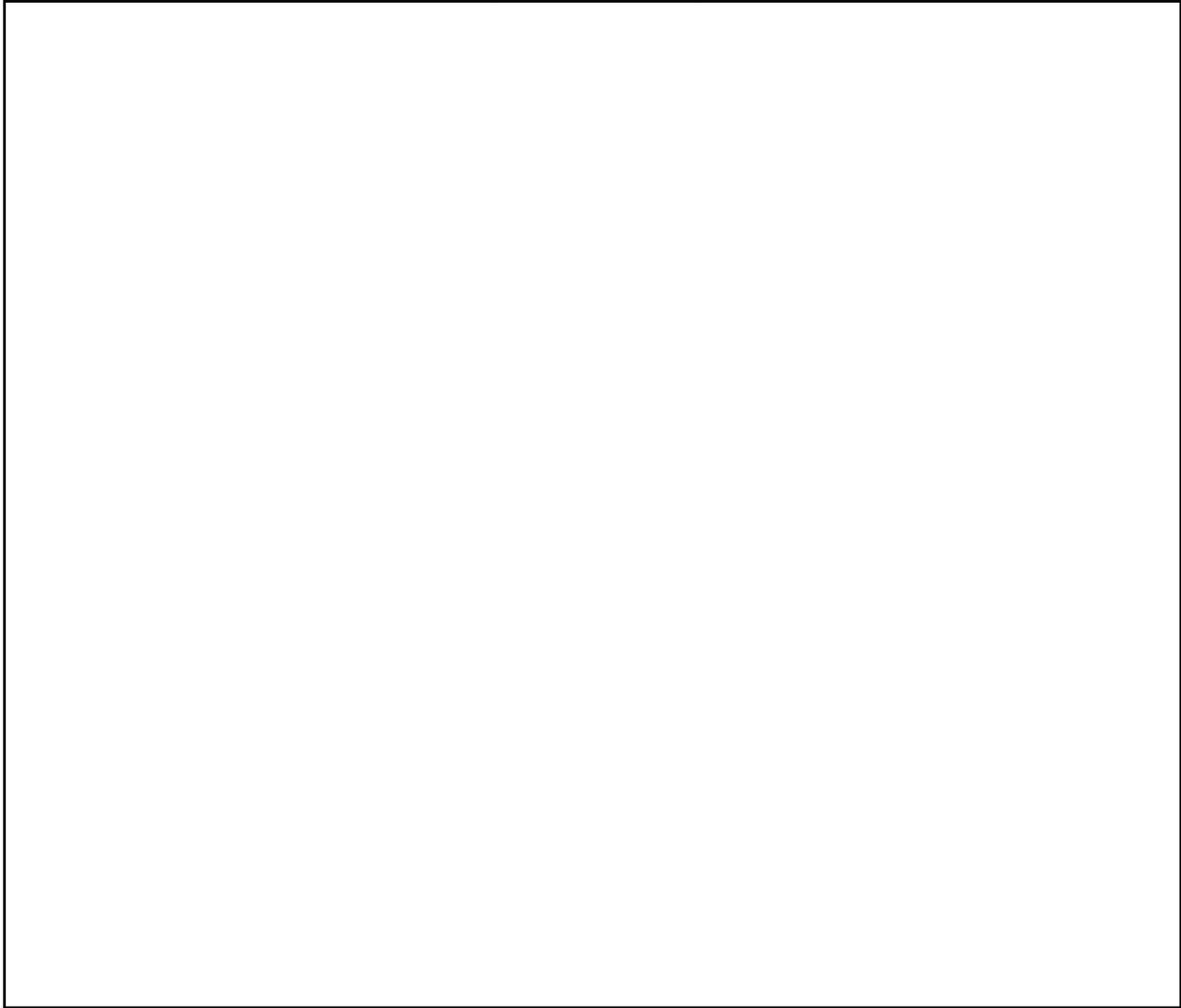
【条例への反映】



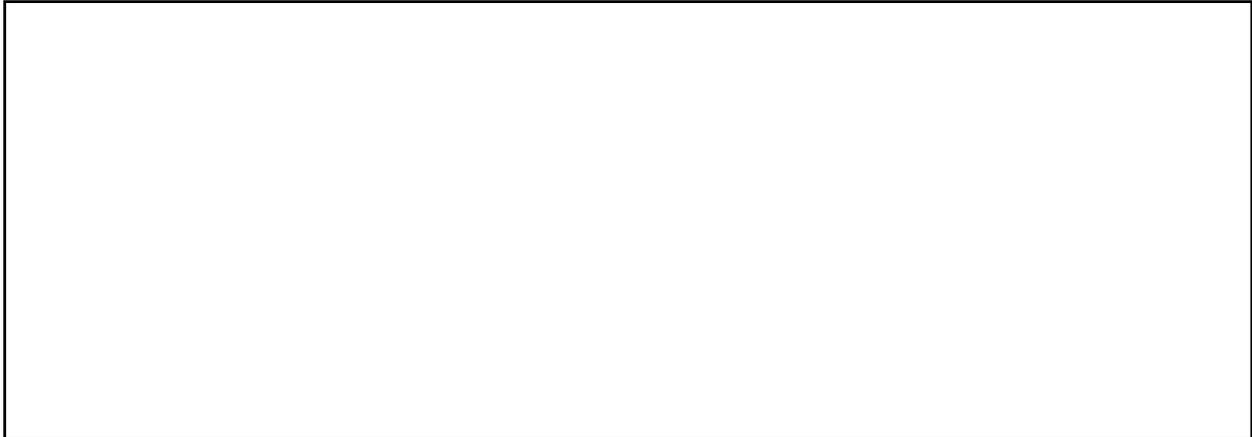
【勉強不足に係る問題点・課題点】

- 自分の守備範囲である常任委員会の勉強をして欲しい。
- 一般質問が質問になっていない議員。
- インターネットを活用できない議員が多い。
- 財政に対する知識がない。
- 議員は市民の目だけではいけない。全体的な学問を！
- 税金ドロボーになるな。市民の視点から見た時、実に腹が立つ。市民の為に働いていない。
- 議会で眠っていたり、質問内容についても幼稚で聞いておれない。勉強不足の議員が多い。
- 行政に対して遠慮している。追求が甘い。
- 議会の閉会中の調査(政務調査費6000円)・検討活動をもっとすべきである。
(議会中のみが多いようだ。)
- 議員の政策提言が弱い。また立法活動にももっと前向きに活動していくべきである。
- 調査や勉強をしていない議員。

【解決策】



【条例への反映】



【議員定数削減に係る問題点・課題点】

- 議員定数を削減する。
- 財政厳しき折、議員定数を大幅に削減すべきである。(15~20名の範囲内)
- 議員定数が多過ぎる。15名位で充分。
- 議員数を少数に。15名位！少数で給料を高く！
- 議員定数は山陽小野田市の人口からして27名は多い。
10名ぐらいが良いと思う。外国はそうしている。
- 議員定数をもっと検討し減じるべきである。(20名程度に)



【解決策】

Blank area for solutions.



【条例への反映】

Blank area for reflection on the ordinance.

【議会改革に係る問題点・課題点】

- 改革(行政・議会)に対してネガティブである。
- 議会改革に対して意識がない。
- 議会での質問で、時間切れでいつも問題が解決されない。
- 会派はいらない。開かれた議会づくりの邪魔になっている。オープンな議会であってほしい。
- 議事を傍聴していて現実性に欠けて聞こえる。
議会内だけの審議に終えているように感じる。
- 議会の中での力関係に敏感であるが市民に目を向けていない。
- 会派を構成している意味が分からない。
- 議長はもっと公平・公正にすべし。自覚が足りない。2年で交替すべし。
- 議長は公正公平にすべし。2年間で交替を望む。

【解決策】



【条例への反映】

【先進地視察に係る問題点・課題点】

- 先進地視察の目的や復命を議会だよりに掲載していない。(隠蔽体質)
- 議員の視察・研修費を省いて、その費用を義務教育の修学旅行費に充てる。
- 議員視察に責任を持って！
- 視察旅行はやめてほしい。インターネットでいくらでも調査・検討出来るはず。
ムダ使いはしない事。
- 研修視察は具体的に活用されているのか、疑問。
無駄な税金使用になっていないのか。



【解決策】

Blank area for solutions.



【条例への反映】

Blank area for reflection on regulations.

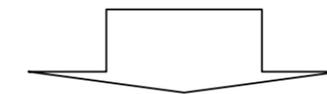
【財政に対する危機感の欠如に係る問題点・課題点】

- 財政に対する危機感がない。
- コスト意識を持っていない。
- 破綻寸前状態にあるのにボーナスがあるのは、民間企業、市民の立場から見ても理解できない。
破綻してもよいと言うのか。恩給制度廃止。
- 議員は一丸となってまずは財政危機突破の行動を起こす事。
絶対に第二の夕張にするな。
- 合併の問題でも市民にとって広域合併が有利である事は伴っているのに殆どの議員は一市一町合併を望んだ。これが現在の財政危機の原因を作っている。これは全ての議員のエゴである。
責任をとって欲しい。



【解決策】

Blank area for solutions.



【条例への反映】

Blank area for reflection on regulations.

【その他】

- 政務調査費については、はじめから一定額を支給するのではなく、支給限度額を定めて適正・妥当なもののみ、請求書に基づき支給すべきである。
- 議員には毎月報酬が支払われているので、議会等へ出席した日に費用弁償や日額旅費は支給すべきではなく、即刻廃止すべきである。
- 議員の任期制を設ける。3～4期迄。長くするとマンネリ化が出る。
- 恩給制度は廃止すべし。
- ボーナスは廃止すべし。
- 今は出来ないと思うが自分の顔のために無駄な税金を使う事がないように。
- 議員報酬は日当でよいのでは。本当に市民のためにとの想いであればボランティアでもよいのでは。
- 議員報酬は議会日数で決めてもらいたい。
(年間1/3ぐらいしか勤めていないのでは？ 期間外活動がない。)
- 議員定年制導入(市会の活性を計る。)
- 議員に定年制を導入すべきである。(70～75才)

【解決策】



【条例への反映】